

令和元年度 学校評価 『前期・後期の比較とまとめ』

| 項目 | ●色教師アンケート項目 ●色生徒アンケート項目 ●色保護者アンケート項目 | | ■そう思う ■ややそう思う ■ややそう思わない ■そう思わない | | 肯定否定割合 | | 総合評価 | |
|---------------|--|--|---------------------------------|----|--------|-----|------|---|
| | 番号 | 具体的な評価内容 | 自己評価割合 (%) | | 肯定% | 否定% | | |
| Ⅰ 教育目標について | ① | 学校経営方針に基づき、教育活動を行っている。 | 77 | 23 | 100 | 0 | A | |
| | | | 77 | 23 | 100 | 0 | A | |
| | ② | 若草中学校は、常にP→D→C→Aサイクルに基づいた教育活動にとりこんでいる。 | 46 | 54 | 100 | 0 | B | |
| | | | 57 | 43 | 100 | 0 | A | |
| | ③ | 目指す生徒像 | 「よく学び、工夫する生徒」を育成している。 | | 63 | 37 | 100 | A |
| | | | | | 49 | 51 | 100 | B |
| | ④ | | 「心豊かで、助け合う生徒」を育成している。 | | 66 | 34 | 100 | A |
| | | | | | 54 | 46 | 100 | A |
| | ⑤ | | 「健康で、たくましい生徒」を育成している。 | | 63 | 37 | 100 | A |
| | | | | | 66 | 34 | 100 | A |
| ⑥ | 「意欲を持ち、やり抜く生徒」を育成している。 | | 54 | 46 | 100 | 0 | A | |
| | | | 60 | 40 | 100 | 0 | A | |
| 考察 | 校長の経営方針に基づき、学校教育目標や目指す生徒像に向けて、教育課程全体において先生方が熱心に取り組んでいる。後期においては、学園祭や強歩大会、ふれあい道徳授業公開など大きな行事・多くの行事が催されおり、先生方も目標達成のためにより具体的に活動できていた。すべての行事において成功裏に終了し、生徒達の満足度、成長、保護者・地域等の信頼を行事ごとのアンケート結果からも知ることができた。 | | | | | | | |
| 改善 | <ul style="list-style-type: none"> ・教育目標達成を意識した行事を教育課程に沿って計画的に仕組んでいく。 ・行事によってとくに成長できる「自主・自立」に関わる活動を、今後も日常の学校生活の中にも仕組んでいく。 | | | | | | | |
| 評価委員会 意見 | ・前期の評価を意識して解決できるように取り組んでいるのだろうということが伝わってくる。(C→A→Pサイクルが生かされている) | | | | | | | |
| Ⅱ 校務分掌について | ① | 職務内容を十分理解し、責任を持って仕事にあたっている。 | 77 | 23 | 100 | 0 | A | |
| | | | 71 | 29 | 100 | 0 | A | |
| | ② | 自分の分掌と他の人の分掌との関連を考え、相互に連絡・協調している。 | 46 | 51 | 97 | 3 | B | |
| | | | 54 | 46 | 100 | 0 | A | |
| | ③ | 分掌の達成状況、改善点などを管理職に「報告、連絡、相談、確認」している。 | 74 | 23 | 97 | 3 | A | |
| | | | 63 | 37 | 100 | 0 | A | |
| | ④ | 管理場所の安全点検を行い、常に適切な安全管理に努めている。 | 71 | 29 | 100 | 0 | A | |
| | | | 77 | 23 | 100 | 0 | A | |
| | ⑤ | 職員会議や校内研究会に積極的に参加し、決定事項を実践している。 | 69 | 31 | 100 | 0 | A | |
| | | | 70 | 30 | 100 | 0 | A | |
| 考察 | 評価内容の①～⑤のすべてにおいて、後期は全て「肯定」となった。「各教師が職務内容を理解してきたということもあるが、コミュニケーション不足という年々の反省を十分に踏まえた結果であることが一番であると思われる。学年等の垣根を越えたコミュニケーションがとて増えたと同時に、連絡・調整も的確に行われており、学校運営がとてスムーズになったと思われる。 | | | | | | | |
| 改善 | <ul style="list-style-type: none"> ・教師ひとり一人のさらなる学校教育への主体的な参加。(コミュニケーション・ミドルリーダー) ・管理職、教務主任、生徒指導主事、学年主任間の情報交換のさらなる意識化をする。(運営委員会) | | | | | | | |

学校関係者
意見
評価委員会

・職員同士のコミュニケーションを軸にして、多忙な中であっても互いがリスペクトしあう関係性で生徒にも接することで、生徒指導にも良い影響を与えているように感じる。強歩大会の運営や、市民会議で行っている正月飾りの準備作業の様子を見ていて、校長先生を筆頭に先生方がまとまり、良好な人間関係を築かれているのが垣間見られた。

Ⅲ 学習指導・進路指導について

| | | | |
|-----|--|--|--|
| ① | 基礎・基本の定着を図る授業を行っている。 | | |
| 生11 | 先生方は、わかりやすい授業をしていると思いますか。 | | |
| 保11 | 先生方は、わかりやすい授業に努めていると思いますか。 | | |
| ② | 生徒の思考力・判断力・表現力，学習意欲を向上させる教科指導のあり方や教育内容の工夫改善に努めている。 | | |
| 生13 | 先生方は、授業に意欲的に取り組めるように教材や教具を工夫して授業を行っていると思いますか。 | | |
| 保13 | 先生方は、お子さんが意欲を持って取り組めるような、授業の工夫をしていると思いますか。 | | |
| ③ | 研究主題を意識した「学び合い」のある授業を実践している。 | | |
| 生12 | 先生方は、一人一人の考えを大切にしたい、学び合いのある授業を進めていると思いますか。 | | |
| 保12 | 先生方は、一人一人の考えを大切にしたい、学び合いのある授業を進めていると思いますか。 | | |
| ④ | 少人数グループや習熟度別授業の実施，また，発展的な内容を取り入れるなど，個に応じた指導を行っている。 | | |
| 生13 | 先生方は、授業に意欲的に取り組めるように教材や教具を工夫して授業を行っていると思いますか。 | | |
| 保13 | 先生方は、お子さんが意欲を持って取り組めるような、授業の工夫をしていると思いますか。 | | |
| ⑤ | 指導と評価の一体化を心がけ、生徒の意欲や自信につながる評価を行っている。 | | |
| 生14 | 先生方は、いろいろな場面で、あなたが努力したことを認めてくれますか。 | | |
| 保14 | 先生方は、お子さんの努力したことを認めてくれて、さまざまな面から評価していると思いますか。 | | |
| 考察 | <p>教師は授業を大切に、実に熱心に取り組んでいる。そのことは生徒⑪～⑭の総合評価が前期、後期ともにすべてA評価であり、生徒達の満足度や教師との信頼関係が構築されていることがうかがえる。 保護者の評価内容においても、前期、後期ともに肯定評価が80%を上回り、保護者における満足度や教師との信頼関係も構築されていると考えられる。</p> | | |
| 改善 | <ul style="list-style-type: none"> ・生徒達からすべてA評価が付いたことはとても素晴らしく、今後も授業づくりを大切に、生徒との信頼関係を深める。 ・テスト前の学習会等、補習授業等の計画（各学年） ・生徒の良い点を多く見つけて評価に生かし、保護者との信頼関係を築く。 | | |

| | | | | | | |
|------------------|--|--|-----|-----|----|---|
| ⑥ | 生徒が自らの生き方について考え、正しい職業観を身に付けることができるように進路指導を行っている。 | | 100 | 0 | B | |
| 考察 | 1年生では「身近な人への職業インタビュー」、2年生では「職場体験」、3年生では「進路選択」が行われ、1学期に2年生の職場体験が2日間行われたこともあり、前期の「そう思う」割合が高くなっているといえる。全体的には高評価であるが、進路指導は日常生活において行われるべきであり、具現化されていないがゆえに「そう思う」という比率が少ないと思える。 | | | | | |
| 改善 | <ul style="list-style-type: none"> キャリア教育において、各教科・道徳・総合・特別活動における横断的な関わりの見直しはもちろん、日常的にキャリア教育の推進を図る。 各学年の取り組みを中心に、PDCAサイクルで工夫改善を行っていく。 | | | | | |
| 学校関係者 意見評価委員 | <ul style="list-style-type: none"> 前期評価で、「学び合いの授業について、保護者評価は正直『わからない』なのではないか。生徒個人の力は、保護者には伝わりやすいが、学んでいるときにおいて『チームを組んだ時の力』をどう評価し、伝えていくか、また、その大切さをどう伝えるかが大事だろう。」との感想を述べたが、後期評価の『保12』を見て、伝え方の工夫があったのだろうと感じた。 学習指導、進路指導における保護者の満足度、教師との信頼関係の前向きな評価は、何をもちて築かれてきたのか、具体的な取組を若い先生方のためにも共有してもよいのではないか。 「生徒の良い点を多く見つけて評価に生かし・・・」多分、学期末の評価以外、日常的なものもあったのではないか。 | | | | | |
| IV 生徒指導・道徳指導について | ① | 生徒理解のために生徒とのコミュニケーションを図る努力をしている。 | | 100 | 0 | A |
| | 生15 | 先生方は、生徒の意見をよく聞き、相談に乗ってくれていると思いますか。 | | 92 | 8 | A |
| | 保15 | 先生方は、相談や悩み事について、適切に応じてくれていると思いますか。 | | 84 | 16 | B |
| | 生16 | 学級担任の先生には、気軽に何でも相談できますか。 | | 81 | 19 | B |
| | 保16 | お子さんは、担任の先生になんでも相談していますか。 | | 64 | 36 | C |
| | 考察 | 日頃より、実に生徒ひとり一人を大切にしながら対応している教師の姿がうかがえる。それが伝わるかのように生徒達から総合評価⑮～⑯はA評価が付くことができている。保護者の総合評価保⑮についても前期同様高評価となっているが、⑯については残念な結果であり、真摯に受け止めて今後対応を考えていく必要がある。 | | | | |
| | 改善 | <ul style="list-style-type: none"> 今後もひとり一人の生徒を大切にされた対応を続けていく。（生徒理解と生徒情報交換の大切さを全職員が意識化） チームとして対応が必要な場合の組織を強固にする。（学年主任、生徒指導主事、養護教諭、SC等関係職員） 質問内容の見える化（保護者アンケート⑯） | | | | |
| | ② | 基本的な生活習慣、生活のルールや決まりを身につけさせる指導を行っている。 | | 100 | 0 | A |
| | 生8 | あなたは、一日の生活のリズム（起床・就寝・食事・排泄など）がつくれていますか。 | | 85 | 15 | A |
| | 保8 | お子さんは、一日の生活のリズム（起床・就寝・食事・排泄など）がつくれていますか。 | | 85 | 15 | B |
| 考察 | 今後社会に出る上で、約束や集団としてのルール、マナー等を身に付けることは非常に大切なことである。このことについては先生方もとても重要と考えているとともに、生徒達もその必要性を十分に自覚し、先生方の指導についてもしっかりと受け止めることができているとうかがえる。保護者にとっては、起床・就寝・食事など、直接見える部分であり、心配している様子がうかがえる。また、そのことは家庭においてしっかりとしつけをしているあらわれであると思える。今後も家庭との連携を図り、生徒の成長を見守っていくことが大切である。 | | | | | |
| 改善 | <ul style="list-style-type: none"> 「あたり前のことをあたり前に」、これまでと同様に基本的な生活習慣やマナー等、全職員で気が付いたことについて指導を継続していく。（生徒指導主事のリーダーシップ） 家庭・地域との連携を図りながら、より生活習慣やマナー等の充実を図る。 | | | | | |

IV 生徒指導・道徳指導について

| | | | | | |
|--------------|--|--|-----|----|---|
| ③ | 一人一人のよさを認め合う態度、望ましい人間関係を育てる指導を行っている。 | | 100 | 0 | A |
| | | | 100 | 0 | A |
| ④ | 生徒支援委員会（生徒指導部会、ケース会議含む）は、組織的・計画的に運営され、有機的に機能している。 | | 94 | 6 | A |
| | | | 97 | 3 | A |
| 考察 | <p>上記の生徒総合評価⑬⑭が高評価の通り、生徒ひとり一人の生徒理解に努め、望ましい人間関係を育てようと先生方が特に励んでいる様子が見えがえる。授業や教科外においても細かく指導している姿が見られている。</p> <p>生徒支援委員会において、生徒ひとり一人について、今後どのような指導が適切であるのか熱心に話し合いが行われ、直接かかわる先生方へのアドバイスが行われる。また、学校全体としてどのように関わるのか、外部機関を利用してどのように関わるのかなど、チームとしての関わりについても検討されている。</p> | | | | |
| 改善 | <ul style="list-style-type: none"> 生徒支援について、先生方が気軽に相談し合えるようコミュニケーションを大切にする。（全職員の意識化・ミドルリーダー） 生徒支援委員会の情報はもちろん、生徒理解を共有できる場を形式にとらわれず気軽に設定（朝礼等） 生徒支援委員会の実施計画（生徒指導主事） | | | | |
| ⑤ | 道徳の授業を年間計画に沿って実践し、道徳的实践力を高めるための指導を授業以外でも日常的に取り組んでいる。 | | 100 | 0 | B |
| | | | 97 | 3 | B |
| 生17 | 学校は、道徳教育（人間の生き方やあり方）を行い、心を育てる教育をしていると思いますか。 | | 94 | 6 | A |
| | | | 94 | 6 | A |
| 保17 | 学校は、道徳教育（人間の生き方やあり方）を行い、心を育てる教育をしていると思いますか。 | | 88 | 12 | B |
| | | | 89 | 11 | B |
| 考察 | <p>中学校では本年度より道徳が「特別の教科 道徳」となり、先生方も特に意識して熱心に取り組んでいる。このことは生徒や保護者の高評価のからもうかがえる。教師⑥について、「ややそう思わない」が一名おり、日常的な指導について反省して記入したとも考えられるなど、さまざまな捉え方はできるが、100%となるよう取り組む必要がある。</p> | | | | |
| 改善 | <ul style="list-style-type: none"> 授業はもちろん、学校生活全体において道徳的实践力を高める。（道徳主任、各教師の意識化） 各学年ごとに道徳授業内容について情報交換や資料の共同制作を行う。（学年主任・各学年道徳担当） | | | | |
| ⑥ | 不登校やいじめについて、積極的な情報収集を行い、早期発見・早期対応を意識して取り組んでいる。 | | 94 | 6 | A |
| | | | 94 | 6 | A |
| 考察 | <p>不登校やいじめは学校が解決しなくてはならない喫緊の課題である。不登校については、特に中1ギャップが多いといわれおり、小中連携（小中での交換会や情報交換）がとても大切であり、多くの機会を設ける必要がある。また、チーム学校と言われるように今後も外部機関（SC、SSW、支援学校等）との連携も大切である。</p> <p>「いじめは絶対にゆるさない」という強い姿勢を先生方は持っており、道徳指導はもちろん、アンテナを高くし、教職員の情報収集と情報交換も頻繁に行われ早期発見・早期対応に努めている。</p> | | | | |
| 改善 | <ul style="list-style-type: none"> いじめはどこの学校でも誰にでもおこりえるというスタンスを常に持ち、早期発見・早期対応に努める。（教師の意識化） 新たな不登校を生まないための取り組みを、今後も継続していく。（生徒理解・小中連携・生徒支援委員会等） | | | | |
| 学校関係者意見評価委員会 | <p>・保護者の評価「子どもが担任になんでも相談・・・」が低い？ 保護者はその実態をつかんでいるのだろうか。保護者自身は、生徒の相談相手として気軽になんでも相談に乗っているという実感があるだろうか。この評価欄が適切かどうかは分からないが、生徒の相談ごとに気軽に対応できる大人の環境づくりこそ大事で、そこには担任だけでなく、保護者も含めて考える必要があるように思う。むしろ、保護者と連携して「気軽になんでも相談できる環境がありますか？」との問があってもよいのではないかな。</p> <p>・生活習慣の確立に関して、生徒と保護者の受け止めに差がある。その具体的な中身がどのようなものなのか、明らかにして生徒に伝えたらどうだろうか。</p> <p>・学校の道徳教育に関して、どこまで保護者は期待しているだろうか。1時間の授業ではなく、教育活動全体をとおして育てる心の教育という面と、授業としての道徳教育、保護者が評価できる基準が明確なのか、疑問に感じることがある。授業としてであれば、保護者も参加しての授業も時には良いのではないかな。</p> <p>・いじめはどの学校でも、誰にでも起こりうる。→誰もがいじめられる側、いじめられる側になりうる。その認識を学校だけでなく、生徒、そして、保護者にも理解してもらうことが、早期発見、早期対応のカギになりように思う。</p> | | | | |
| ① | 生徒の自主性を育成し、学級や学年、学校生活の充実を図るための指導を行っている。 | | 100 | 0 | A |
| | | | 100 | 0 | A |
| ② | さまざまな行事や活動を仕組み、達成感や成就感が満たされる内容を工夫している。 | | 100 | 0 | A |
| | | | 100 | 0 | A |
| 生18 | 学校の行事や生徒会の行事など、学校の行事は充実していると思いますか。 | | 96 | 4 | A |
| | | | 97 | 3 | A |

V 特別活動について

| | | | | | | | |
|------------------|--|----|----|---|-----|---|---|
| 保18 | 子供たちが活動する学校の行事は充実していると思いますか。 | 43 | 51 | 6 | 94 | 6 | B |
| | | 44 | 52 | 4 | 96 | 4 | B |
| 考察 | <p>学校の行事について、生徒の総合評価⑱がAと大変良い結果になっている。生徒会活動や委員会活動、部活動等において、先生方が生徒の自主・自立を育もうとする姿勢がうかがえる。取り組み方においても、リーダーを中心に生徒の考えを大切にしたり、ともに創り上げる過程があるからこそ、満足感があると思われる。保護者の方も行事等が、生徒を成長させていることに理解を示してくれていると思われる。</p> <p>後期は学園祭等の大きな行事の取り組みがあったため、「そう思う」が高くなっていると思われるが、日常的に生徒の自主性を育成しようとする意識や指導が行われている結果ともいえる。</p> | | | | | | |
| 改善 | <ul style="list-style-type: none"> ・各行事の目的や意義、取り組み方を全職員で共通で確認をする。（各行事ごとにPDCAサイクルにて検証と改善を含む） ・学校での活動の様子が保護者に伝わるよう種々たより、HPの充実に取り組む。（種々たよりの発行者、HP担当） | | | | | | |
| ③ | 朝読書や図書館の活用を積極的に進め、豊かな感性の育成を図っている。 | 77 | 23 | | 100 | 0 | A |
| | | 62 | 38 | | 100 | 0 | A |
| ④ | 充実した委員会活動や部活動を行うことができるような指導に努めている。 | 71 | 29 | 0 | 100 | 0 | A |
| | | 46 | 54 | | 100 | 0 | B |
| 考察 | <p>朝読書は今年で5年目となる活動である。一日の始まりが静かで落ち着いた雰囲気からスタートすることは、授業への集中力の高まりや穏やかな生活につながっていると思われる。後期は、担任はもちろん、管理職やフリーの先生方も生徒達に「本の紹介」を行うなど、全校体制で読書活動を高めることができた。</p> <p>また「充実した委員会活動や部活動を行うことができるような指導に努めている」は、後期が行事も多く、委員会としての取り組みも充実した結果となっているといえる。</p> | | | | | | |
| 改善 | <ul style="list-style-type: none"> ・朝読書の時間を生徒も教師も全員が本を読む時間に。（職員の意識化） ・読書内容の工夫と改善。（図書委員会で企画検討し提案する） | | | | | | |
| 評 価 意 見 | <p>「朝読書」はぜひ今後も継続を。</p> <p>・読み聞かせ等、小中一貫の取組の中で中学生が小学生にたいして関わることもできる。朝読書が共通したもので、時間や内容の工夫ができれば楽しい。</p> <p>・学校HPに生徒が関り、学校行事のいくつかを紹介していた。まだ始めたばかりだと思うが、新年度から計画的に行い、職員の負担軽減と、より生徒が学校づくりに活躍できる場として活用できたら良いと思う。前期で一つの案として出された内容をすぐに活かしていて素晴らしいと感じた。</p> | | | | | | |

VI 家庭・地域との連携について

| | | | | | | | |
|------------------|--|----|----|----|-----|----|---|
| ① | 地域や保護者からの情報や要望を真摯に受けとめ、日々の教育活動に反映できるように努めている。 | 66 | 34 | | 100 | 0 | A |
| | | 64 | 36 | | 100 | 0 | A |
| ② | さまざまな学習活動で、地域の施設を利用したり、地域の人々に協力を要請するなど、地域連携を深めている。 | 38 | 56 | 6 | 94 | 6 | B |
| | | 33 | 61 | 6 | 94 | 6 | B |
| 考察 | <p>日頃より、地域や保護者の声に真摯に耳を傾け、教育課程に反映する教師の姿がうかがえる。後期は行事も多く、地域や保護者の方と接する部分が多かった。特に学園祭では多くの保護者の方に参加していただき、ご意見をいただくことができた。</p> <p>また、強歩大会では安全指導に多くの方の御協力をいただき大変感謝している。</p> <p>②については、職場体験など地域の協力もいただいているが、まだまだ地域の力を活用しながら、学校教育に活かしていく必要があるといえる。</p> | | | | | | |
| 改善 | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者や地域の方と意欲的にコミュニケーションを図ろうとする意識改革（職員の意識化） ・地域連携を視野に入れた行事の再検討を行う。（教務主任、生徒会顧問） ・地域コーディネーターとの連携を図り、地域人材の活用（教頭） | | | | | | |
| ③ | 学校・学年・学級たより等の諸たよりを定期的に発行し、またホームページを活用して、学校や生徒の様子を積極的に公開している。 | 56 | 44 | 0 | 100 | 0 | A |
| | | 45 | 52 | 3 | 97 | 3 | B |
| 生19 | 学校は、いろんなたよりやホームページなどで、出来事を積極的に連絡し、また公開していると思いますか。 | 50 | 37 | 8 | 87 | 13 | B |
| | | 49 | 34 | 12 | 83 | 17 | B |
| 保19 | 学校は、各種たよりやホームページなどで、積極的に情報公開を行っていると思いますか。 | 34 | 50 | 12 | 84 | 16 | B |
| | | 33 | 53 | 11 | 86 | 14 | B |
| 考察 | <p>特に学年たよりや学級たよりなど積極的に発行されている。HPも前期評議委員会でアドバイスを頂いたようにパソコン部と連携しながら取り組みは始めている。学年通信、担任が発行している学級通信、保健だより、図書だより、給食だより、生徒指導通信、HP等多くの情報発信が行われている。しかしこれらの通信やたよりを発行するしないは任意であり、教師の意欲や態度が問われるものでもない。ただし、必要な情報を適切なタイミングで公開することは、学校に課せられた義務であり、このことは常に心掛けなければならない。</p> | | | | | | |
| 改善 | <ul style="list-style-type: none"> ・今後も、必要な情報は、適切なタイミングで公開を心掛ける。 ・HPについては、更新の効率化を図るための対策、また多くの方に認知していただく方策も検討。 | | | | | | |
| 評 価 意 見 | <p>「中学生のみまもりたい」から、地域にとって大事な役割を担っているという自覚が、若中の生徒をたくましく育てているように感じる。自己有用感が地域とのかかわりの中で育つならば、「地域学校協働活動」への期待も高まる。</p> | | | | | | |

Ⅶ 自身と職場について

| | | | | | | | |
|--------------------------------------|--|----|----|-----|-----|----|---|
| ① | 学校へ来ることが楽しかった。 | 47 | 44 | 9 | 91 | 9 | B |
| | | 44 | 50 | 6 | 94 | 6 | B |
| 生1 | あなたは、毎日元気に楽しく学校に登校していますか。 | 63 | 29 | 53 | 92 | 8 | A |
| | | 62 | 30 | 62 | 91 | 9 | A |
| 保1 | お子さんは、毎日元気に学校に通っていますか。 | 66 | 27 | 44 | 93 | 7 | A |
| | | 65 | 29 | 43 | 93 | 7 | A |
| 考察 | <p>生徒が元気に楽しく通える学校がなにより一番である。わかりやすい授業や居心地のよい人間関係、互いに良いところを見つけ認め合え、それぞれの居場所のある学級集団や学年集団を作り上げているからこそ得られる評価であると思われる。同様に保護者からも高い得られていることはたいへんありがたい評価である。</p> <p>教師評価も前期に比べ高評価につながりつつある。前期の反省も踏まえ、学校にとっての必要性を自覚したからだと思う。教師が楽しいと感じることが、生徒が楽しいと感じる学校づくりにつながることを今後も意識したい。</p> | | | | | | |
| 改善 | <ul style="list-style-type: none"> 日常生活においても、ひとり一人の生徒が輝けるような取り組みを行う。(学年, 担任, 担当) 学年内はもちろん、学年を越えたコミュニケーションを今まで以上に図る。(教師の意識化) | | | | | | |
| ② | 授業や生徒のことなど、必要な時に職場で話げできた。 | 68 | 29 | 3 | 97 | 3 | A |
| | | 69 | 25 | | 94 | 6 | A |
| ③ | 子供たちに信頼される教師であった。 | 13 | 75 | 9 | 88 | 13 | B |
| | | 29 | 63 | 9 | 91 | 9 | B |
| ④ | 教師としての力量を高めることができた。 | 42 | 55 | 3 | 97 | 3 | B |
| | | 50 | 50 | | 100 | 0 | A |
| ⑤ | 教師集団として、一つにまとまることができた。 | 38 | 53 | 90 | 91 | 9 | B |
| | | 41 | 50 | 9 | 91 | 9 | B |
| 考察 | <p>職員室では、生徒の頑張りや心配になる点など、学年を越えて話が飛び交うことも多い。しかし、中学校では教科担任制のため職員が顔をそろえて話げできるのは、部活動後の遅い時間になってしまう。そんな中、生徒の情報交換等に労を惜しまずに取り組んでいる。</p> <p>③④⑤について、後期は肯定評価が増え、高評価になりつつある。後期は行事が多く、充実した取り組みができた成果であると思われる。</p> | | | | | | |
| 改善 | <ul style="list-style-type: none"> 生徒理解のためには日常的な情報交換はとても大切で。気づいたことは学年を越えて今後も行う。(教師の意識化) 教師としての力量を高めるため、専門性や総合的なコミュニケーション能力を高める努力を続ける。(教師の意識化) よりレベルの高いものを求める教師集団であるために、常にコミュニケーションと研究と研鑽を続ける。(教師の意識化) | | | | | | |
| 意見 学校関係者 評 査 委 員 会 | <p>「教師が楽しいと感じることが、生徒が楽しいと感じる学校づくりにつながる」まさに、「シビレエイは自らがしびれているから、他をしびれさせることができる」だと思う。先生方一人一人が、スタンダードな取組以外に、やってみたい教育活動があり、それができる環境があるかが大事なのではないか。</p> | | | | | | |
| ① | 学校には、教育活動に必要な施設・設備が整っている | 41 | 44 | 6 | 50 | 50 | C |
| | | 9 | 48 | 36 | 58 | 43 | C |
| 生②① | 学校には、学習するのに必要なもの・場所・道具などが整っていると思いますか。 | 60 | 31 | 72 | 91 | 9 | A |
| | | 52 | 37 | 92 | 89 | 11 | A |
| 保②① | 学校には、教育活動に適した施設・設備が整っていると思いますか。 | 28 | 51 | 173 | 79 | 21 | C |
| | | 27 | 51 | 175 | 78 | 22 | C |
| 考察 | <p>破損等があった場合、すぐに修繕対応をしているが予算にも限りがある。また、施設や設備が古いことは受け入れなければならぬ現実もあるが、改善のための要求は継続していく必要がある。すぐに改善できるものもあれば、長い年月を要する場合もある。現時点では限られたスペースや施設・設備に手を入れながら、改善改良や対応を探るのが方策と言える。</p> | | | | | | |
| 改善 | <ul style="list-style-type: none"> 水道、トイレなど、改善を要求していく。(管理職 事務職) 破損しないような物の扱い方や指導、破損箇所がある場合は各自で修繕を心がける意識を持つ。(教師の意識化) それぞれの分掌での必要物品の把握をし、順次整備していくことが望まれる(教師の意識化) | | | | | | |
| 意見 学校関係者 評 査 委 員 会 | <p>・年数がたっている施設、設備だが、丁寧に使っていると感じる。</p> | | | | | | |